

入選

家族との「協力」

中札内中学校一年 三浦 悠希

僕は酪農家の家に生まれ日々の手伝いの経験から、役割分担、助け合い、つまり「協力」がないと酪農は成り立たないと思いました。それはなぜか考えてみました。

僕は「酪農にはいろいろな仕事があるからだ」と考えました。例えば搾乳、牛舎掃除、牛の餌づくりは毎日同時進行しています。そのようなときは役割分担が必要です。

お父さんが畑仕事をやっていて家に帰れないときなどにはお母さんが弁当を作ってあげる必要があります。これは助け合いです。

このように「協力」がなければ酪農は成り立ちません。また「協力」があるから酪農は成り立っているのだと思います。

この「協力」は家庭でも同じだと思います。家庭でもこの酪農のように洗濯、食器洗い、掃除などいろいろな仕事がありますよね？そのようなときはやはり「協力」が必要です。お父さんとお母さんと子供たちで「協力」すればいいはずです。

さらにその一人一人が得意な作業をすることにより効率よく、楽しく作業できると思います。また自由時間も増えて楽しいです。

「協力」にはこのようなよさがあります。

これは僕の1つの考えです。絶対ではないですがぜひ1度家族と「協力」して家庭の時間を楽しんでみてはどうでしょうか。